

(その1)

会計	繰越	検算	転記			
中	中	サ	タ	〇	〇	〇

収支報告書

令和3年分

(年月日開催分)

えがおのにほん

1 政治団体の名称
(ふりがな) 笑顔の日本

2 主たる事務所の所在地 熊本県熊本市西区二本木3-7-23

3 代表者の氏名 伊藤 秀正

4 会計責任者の氏名 藤末 千紗

事務担当者の氏名 須山 義正

(電話) 03-6550-1009

(電話)

(電話)



政治団体の区分	
<input type="checkbox"/> 政 党	党
<input type="checkbox"/> 政 党 の 支 部	□ 政治資金規正法第18条の2第1項 の規定による政治団体
<input type="checkbox"/> 政 治 資 金 団 体	<input checked="" type="checkbox"/> その他の政治団体
	<input type="checkbox"/> その他の政治団体の支部
活動区域の区分	
<input checked="" type="checkbox"/> 2以上の都道府県の区域等	
<input type="checkbox"/> 同一の都道府県の区域内	
資金管理団体の指定の有無	
<input type="checkbox"/> 有	
<input checked="" type="checkbox"/> 無	
国会議員関係政治団体の区分	
<input type="checkbox"/> 政治資金規正法第19条の7第1項 第1号に係る国会議員関係政治団体	
<input checked="" type="checkbox"/> 政治資金規正法第19条の7第1項 第2号に係る国会議員関係政治団体	
公職の候補者 の 氏 名	
藤末 健三	
公職の種類	
参議院議員(現職)	
資金管理団体の指定の期間	
令和 年 月 日から	
令和 年 月 日まで	
国会議員関係政治団体に関する 特例の適用期間	
令和 年 月 日から	
令和 年 月 日まで	

100710

(その2)

1 収支の総括表

収入総額		1	5	3	5	2	5	7	7
(前年からの繰越額)		1	3	4	1	7	3	7	2
(本年の収入額)		1	9	3	5	2	0	5	
支出総額		1	6	6	3	7	9		
翌年への繰越額		1	5	1	8	6	1	9	8

2 収入項目別金額の内訳

(1) 個人の負担する党費又は会費									
金額									0
員数									0人

ア 寄附(イを除く。)の区分	金額	備考
(ア)個人からの寄附	1 5 3 5 0 0 0	
(うち特定寄附)		0
(イ)法人その他の団体からの寄附		0
(ウ)政治団体からの寄附		0
小計 (ア) + (イ) + (ウ)	1 5 3 5 0 0 0	
(寄附のうち寄附のあっせんによるもの)		0
イ 政党匿名寄附		0
合計 (ア+イ)	1 5 3 5 0 0 0	

(その3)

(3) 機関紙誌の発行その他の事業による収入

(その6)

(6) その他の収入

(その7)

(7) 寄附の内訳

(その13)
3 支出項目別金額の内訳

(1) 支出の総括表

項 目	金 額						備 考	
	十億	百	千	百	十	円		
1 経 常 経 費								
(1) 人 件 費				1	5	4	0	2
(2) 光 熱 水 費								0
(3) 備 品 ・ 消 耗 品 費								0
(4) 事 務 所 費				1	5	0	9	7
小 計				1	6	6	3	7
2 政 治 活 動 費								
(1) 組 織 活 動 費								0
(2) 選 挙 関 係 費								0
(3) 機関紙誌の発行その他の事業費								0
ア 機 関 紙 誌 の 発 行 事 業 費								0
イ 宣 伝 事 業 費								0
ウ 政 治 資 金 パーティー 開 催 事 業 費								0
エ そ の 他 の 事 業 費								0
(4) 調 査 研 究 費								0
(5) 寄 附 ・ 交 付 金								0
(6) そ の 他 の 経 費								0
小 計								0
合 计				1	6	6	3	7

(その14)

(2) 経常経費 (人件費を除く。) の内訳

項目別区分 4.事務所費

(その17)

○ 資産等の状況 ○

1 資産等の総括表

資産等の有無			
資産等の項目別区分	有	無	備考
ア 土地	<input type="checkbox"/>	■	
イ 建物	<input type="checkbox"/>	■	
ウ 建物の所有を目的とする地上権又は土地の賃借権	<input type="checkbox"/>	■	
エ 取得の価額が100万円を超える動産	<input type="checkbox"/>	■	
オ 預金（普通預金及び当座預金を除く。）又は貯金（普通貯金を除く。）	■	<input type="checkbox"/>	
カ 金銭信託	<input type="checkbox"/>	■	
キ 有価証券	<input type="checkbox"/>	■	
ク 出資による権利	<input type="checkbox"/>	■	
ケ 貸付先ごとの残高が100万円を超える貸付金	<input type="checkbox"/>	■	
コ 支払われた金額が100万円を超える敷金	<input type="checkbox"/>	■	
サ 取得の価額が100万円を超える施設の利用に関する権利	<input type="checkbox"/>	■	
シ 借入先ごとの残高が100万円を超える借入金	<input type="checkbox"/>	■	

(その18)

2 資産等の項目別内訳

(その20)

宣誓書

添付書類（別添のとおり）

- 1 領収書等の写し
- 2 監査意見書（政党及び政治資金団体に限る。）
- 3 政治資金監査報告書（国会議員関係政治団体に限る。）

この報告書は、政治資金規正法に従って作成したものであって、真実に相違ありません。

令和4年3月23日

政治団体の名称 紅葉の日本

会計責任者の氏名 藤末 千紗

代表者の氏名
(解散時のみ記入)

（オンライン提出）

(別紙)

様式	注釈番号	見切れ文字列 (同一の注釈番号で2行に記載がある場合、上段が訂正後、下段が訂正前)
その18 オ 預金(普通預金及び当座預金を除く。)又は貯金(普通貯金を除く。)	*1	2020年12月7日元加継続 (2018年12月5日10,000千円預入)

政治資金監査報告書

令和4年3月23日

笑顔の日本

代表 伊藤秀正殿

登録政治資金監査人 
登録番号 第996号
研修修了年月日 平成21年4月21日


1 監査の概要

(1) 私は、政治資金規正法（以下「法」という。）第19条の13第1項の規定に基づき、笑顔の日本の令和3年に係る法第12条第1項に規定する收支報告書のすべての期間を対象として、当該収支報告書並びに当該収支報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徵し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書（支出の目的が記載された振込明細書の写しを含む。以下同じ。）について、支出に関する政治資金監査を行った。

(2) この政治資金監査は、法第19条の13第2項に定めるところにより政治資金適正化委員会が定める「政治資金監査に関する具体的な指針」（以下「政治資金監査マニュアル」という。）に基づき行った。

(3) 私の責任は、外部性を有する第三者として、国会議員関係政治団体の会計責任者の作成又は微取した収支報告書並びに当該収支報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徵し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書について、政治資金監査マニュアルに基づき政治資金監査を行った結果を報告することにある。

(4) この政治資金監査は、東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1009号室において行った。

これは国会議員関係政治団体の主たる事務所と異なる場所であるが、同一の国会議員に係る複数の国会議員関係政治団体の政治資金監査を実施するため、政治資金監査の効率的な実施を考慮し、特定の事務所等に会計帳簿等の関係書類を集めた上で、政治資金監査を行うことが適当であると坂倉宏次が判断したためである。

2 監査の結果

私が実施した政治資金監査の結果は、以下のとおりである。

(1) 法第19条の13第2項第1号に規定する事項について、会計帳簿、領収書等及び振込明細書が保存されていた。

ふお、明細書、領収書等を徵し難かつた支出の明細書及び振込明細書に係る支出目的書を必要とする支出はなく、明細書、領収書等を徵し難かつた支出の明細書及び振込明細書に係る支出目的書は存在しなかった。

(2) 法第19条の13第2項第2号に規定する事項について、会計帳簿には、当該国議員関係政治団体に係るその年における支出の状況が記載され、かつ、当該国議員関係政治団体の会計責任者が当該会計帳簿を備えていた。

(3) 法第19条の13第2項第3号に規定する事項について、法第12条第1項に規定する收支報告書は、会計帳簿、領収書等及び振込明細書に基づいて支出の状況が表示されていた。

(4) 法第19条の13第2項第4号に規定する事項について、領収書等を徵し難かつた支出の明細書及び振込明細書に係る支出目的書は、存在しなかった。

3 業務制限

笑顔の日本と私との間には、法第19条の13第5項の規定に違反する事実はない。また、笑顔の日本と政治資金監査の業務を補助した使用人その他の従業者との間においても、同様である。

以 上